

お知らせ



- ASA-IM は第 25 回 アメリカ大豆品質展望コンファレンスを 11 月 19 日にグランドプリンスホテル 赤坂 別館 5F ロイヤルホールにて開催予定です ⇒ <http://www.asaimjapan.org/>
- 11 月 2-4 日まで米国ニューオーリンズにて Soya & Oilseed Summit 2009 及び Global Soybean & Grain Transport 2009 が開催予定です。詳細は URL より ⇒ <http://events.soyatech.com/>
- 11 月 5-6 日までスペイン バルセロナにて第 2 回国際シンポジウム Soy & Strategic Marketing 会議が開催予定です。詳細は URL より ⇒ <http://www.soyconference.com/>
- 11 月 18-19 日まで米国シカゴにて Food Protein innovation (FPI) 2009 Conference が開催予定です。

2009 年度 中西部スペシャルティ穀物会議の報告



9 月 1-3 日にノースダコタ州 スーフオールズで開催された「2009 中西部スペシャルティグレイン会議 & トレードショー」に参加した。他国 ASA-IM からの参加は韓国事務所食品担当。

食品大豆に関するパネルでは、「育種業界における新大豆品種の展望と再び高まる従来品種への関心」という議題で、米国の大豆種子業界のリーダー 3 名による講演が行われた。今年は、例年に比べ、最終ユーザーの関心事に焦点をあてた内容が盛り込まれていた。

民間企業の代表として参加したジョン・A・シリンジャー博士（シリンジャー・シード社 社長/ アイオワ州）によるプレゼンでは、2010 年に発売予定の e-Merge 新品種が数種、紹介された。詳細は右ウェブサイトより ⇒ <http://www.emergegenetics.com/>

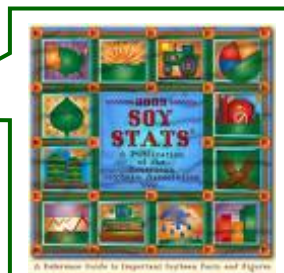
← スライド写真: 『Join Non-GMO Revolution ! Meeting the Demands of Food Grade Soybean Customers / Non-GMO 革命に参加しよう! 食品大豆の顧客需要に応える』 (プレゼン資料希望者は ASA-IM 事務所まで 03-5563-1414)

公的機関からの代表としては、ミネソタ大学農学・植物遺伝学研究教授で育種家であるミネソタ大学のジェームズ・オーフ博士が講演した。以下が概要。

- 食品大豆マーケットの発展には新しい品種の開発が必須であり、そのためには顧客との協力体制が重要。その理由として、食品大豆の開発にはいくつかの高いハードルがある。一つは育種上、大豆中の一つの成分を向上させる事が容易でない事。また機能性+風味+収量+病害虫のリスクが無いかなど、全てのバランスをトータルパッケージで見て行く必要があるからだ。二つ目は、ラボ内において新品種が顧客(食品メーカー)に受け入れられるかどうかの定量的評価 (=品質の数値化)が難しい事だ。これらの障害を最小限におさえて行くためにも、アメリカの育種家は大豆生産者→マーケティング→輸出業者→輸入業者→食品メーカー、全サプライチェーンと密接に連携をとり、皆を満足させられる高付加価値品種を開発して行きたい。
- 開発における費用に関しては、顧客との益々のパートナーシップ及び共同開発を希望する。
- 今後、ミネソタ大学、ノースダコタ大学をはじめとする州立大学内の種子開発においては Non-GMO の比率を上げて行く。
- 現在、アメリカには各州の大学に計 18 名、及びアメリカ農務省(USDA/ ARS)専任の 7 名の大豆育種家がいる。最近では従来の Non-GMO のアプローチに重点を置いたうえで、病害虫や他生産上の障害に耐性を持つ大豆の育種、収量・品質改善に取り組んでいる。10 州の大学に食品大豆のプログラムがあり、中でもアイオワ、ミネソタ州のプログラムは 50 年以上の歴史があり成熟している。非常に効果的で、毎年たくさんの品種を出しているプログラムを持つ州もある。(会議報告次号に続く.....)

SOY STATS 2009 <http://www.soystats.com/2009/default.htm>

- 2008 年の米国大豆作付面積は 75.7 million acres (30.6 billion ha)。生産量は 2.959 billion bu. (8054 万 MT)。
- 2008 年の米国大豆は世界の油糧種子生産の 56%、世界の大豆生産の 33%を占めた。
- 2008 年の米国大豆の輸出は 1.16 billion bu. (3160 万 MT)。世界の大豆貿易量の 40%を占めた。
- 2008 年の米国大豆及び大豆製品の輸出は 20 billion ドル超。うち、最大輸出先は中国で 7.2 billion ドル超。メキシコが第 2 番目の輸出先で 1.7 billion ドル。続いて EU が 1.6 billion、日本は 1.3 billion ドル。
- 2008 年の米国の国内搾油量は 1801 million bu. (4902 万 MT)。



ASA-IM JAPAN 発行  
HP: <http://www.asaimjapan.org/>  
Food Marketing: Masi Tateishi  
担当: 立石雅子  
E-mail: [Tateishi-asaimjp@gol.com](mailto:Tateishi-asaimjp@gol.com)